



さの としお  
**佐野 寿夫**  
(公明会)

## 小中学校におけるプログラミング教育の現状及び課題について

**問** プログラミング教育の現状と課題は。

**教育長** デジタル教材を活用することで、プログラミングの基礎を学ぶことができた。一方で、ロボットなどの具体物を動かしたり、実感したりする場面は少ないことが課題。

**問** 高校生との連携や外部プログラミング講師を活用した学習を推進することは。

**教育長** 希望する児童生徒が参加できるような講座を開くことを考えている。そして、学んだ児童生徒が各学校の学習の中で活躍できる形でプログラミング教育を進めていく。外部講師等と連携を取りながら積極的に進めていく。

## 小中学生が盲導犬について学び、福祉の学習をすることについて

**教育長** 日本盲導犬協会富士ハーネスと連携し、富士山学習の授業等において盲導犬に関する学習に取り組んでいる。ユニバーサルデザインの視点を持つことや、障がいの有無にかかわらず共生する社会の実現を目指したインクルーシブ教育の大切さを考えることにつながる。福祉に対する理解を深める大変有効な学習である。

## 有機農業産地づくり推進への取組について

**問** 有機農業産地づくり推進への取組は。

**部長** みどりの食料システム戦略の方向性については、市SDGsの理念にもかなったものであるため、市では他市町村の先進事例に関する情報収集、有機農業者からの意見収集をし、また市役所内部の関係部署及び外部関係者と連携を図り、有機農業振興に資する方策について議論したい。また、有機農家の経営基盤強化に向けた取組とともに、持続可能な農業の在り方を考える勉強会を開催するなど、有機農業産地づくり推進の実現に向けて調査研究を進めたい。



もちづき よしまさ  
**望月 芳将**  
(無会派)

## 富士川かりがね橋の完成が及ぼす影響

**問** 富士川かりがね橋が及ぼす影響について。

**部長** 新橋完成、開通によって渋滞緩和や移動時間短縮の効果や災害時の緊急輸送路として期待される。また、自然環境や世界文化遺産富士山を中心とする観光資源を生かした交通ネットワークの構築によって、岳南地区の魅力向上による活性化を図る大きな機会と考える。

## 富士川左岸道路の必要性についての考え

**問** 富士川左岸道路(富士川上流部を背にして左側)の必要性について。

**部長** 現実的に富士川左岸道路の建設となると、地形的問題による技術面、費用面からその実現は困難なものである。

**問** 昭和50年頃の富士宮市と星山区との間での協定書に記載されており、地元の利便性向上

と防災面から必要ではないか。

**市長** 私が昭和54年に市議会議員に当選した頃、話が出ていた。色々と思案検討したが、左岸沿いではなく蓬萊橋から民地道路を利用し、農免道路を通り星山への構想に落ち着いている。

## 土地利用計画

**問** 令和8年からの計画はいつから策定作業に入るのか。

**部長** 令和5年度から3年間かけて策定する。

**問** 富士市の市民団体が新橋完成後を視野に、岩本山周辺の土地利用緩和と税制優遇を要望した。富士宮市もこの動きに連動していくべきと考えるが。

**副市長** 富士市から一連の動きについて連絡をいただいた。常に情報交換し、隣接する場所について、お互いに早めの情報のやり取りを行う体制を作っている。

**意見** 時代が変わり、巨額な公共投資によって道路状況も利便性が向上したので、土地活用の活性化を図るべきである。